

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	温度荷重小委員会		主 査 名：中島秀雄 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 荷重運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：神田 順
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2006 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	日射や室内温度と言った多くの温度条件(温度荷重)による建物の構造体の変形、応力を把握し、適切な設計の対応を可能とするための指針を示すことが小委員会としての活動目的である。 ・実測データの収集、整理、実用的な解析方法、設計クライテリアを作成し、「温度荷重設計ガイド資料」としてまとめる。・		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無し 林幸雄(鹿島) 持田悟(竹中) 石川孝重(日本女子大) 永田明寛(都立大) 久木章江(文化女子大) 長瀬悟(日建) 中島秀雄(清水) 丹羽博則(大林) 岩本清孝(竹中)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2005 年度予算	90000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 実用的な解析方法の骨格(1次元の熱伝達)ができた。 2. RC、鉄骨造のモデル建物について設計例を作成した。
委員会活動の問題点・課題	1. 柱、梁など2次元の部材の温度略算法の作成 2. 温度荷重に対する設計クライテリアの作成 3. 2006 年度大会パネルディスカッションの開催